

大山隠岐国立公園



神話と山岳信仰が息づく暮らしとともにある 山・島・海

指定: 昭和11年2月1日
面積(陸域のみ): 35,353ha
鳥取県、島根県、岡山県

大山隠岐国立公園は、中国地方最高峰の大山のほか、船上山、蒜山、三徳山、三瓶山等の山々と、隠岐諸島、島根半島海岸部から成る、山と島と海の国立公園です。この国立公園は、神話や山岳信仰の舞台となっており、出雲大社をはじめとする神話にまつわる名所旧跡が点在し、山岳信仰の霊場であり開山1,300年の歴史を有する大山や三徳山を擁します。伝統的な神事や祭が今もなお数多く執り行われているなど、神話や山岳信仰とともに受け継がれてきた暮らしが、山と島と海の自然風景の中に溶け込んでいます。日本の原風景と言える暮らしに触れながら、山と島と海での多彩なアウトドア・アクティビティを楽しめる点が、他の場所にはない、大山隠岐国立公園の魅力です。



鍵掛峠



出雲大社

大山



赤壁



通天橋



乳房杉

隠岐ユネスコ世界ジオパーク

隠岐「地球の不思議」と出会う島

認定: 平成25年9月9日
構成市町村: 島根県隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村



日本海に浮かぶ離島・隠岐諸島は、島根県隠岐郡隠岐の島町・西ノ島町・海士町・知夫村の3町1村で構成されており、2009年に日本ジオパークに、2013年に世界ジオパークに認定されました。隠岐諸島には4つの有人島があり、島後では日本列島の形成史を物語る隠岐片麻岩や地球内部の構造を伝えるマントルゼノリスが見られる一方、島前では3つの島そのものがカルデラ地形を成しています。日本海の風浪によって削られたダイナミックな地形や奇岩、暖地や寒地の要素が入り混じった特異な植物相、離島ならではの独特な祭礼が魅力で、これら「大地の成り立ち」「独自の生態系」「人の営み」の“つながり”を伝えています。

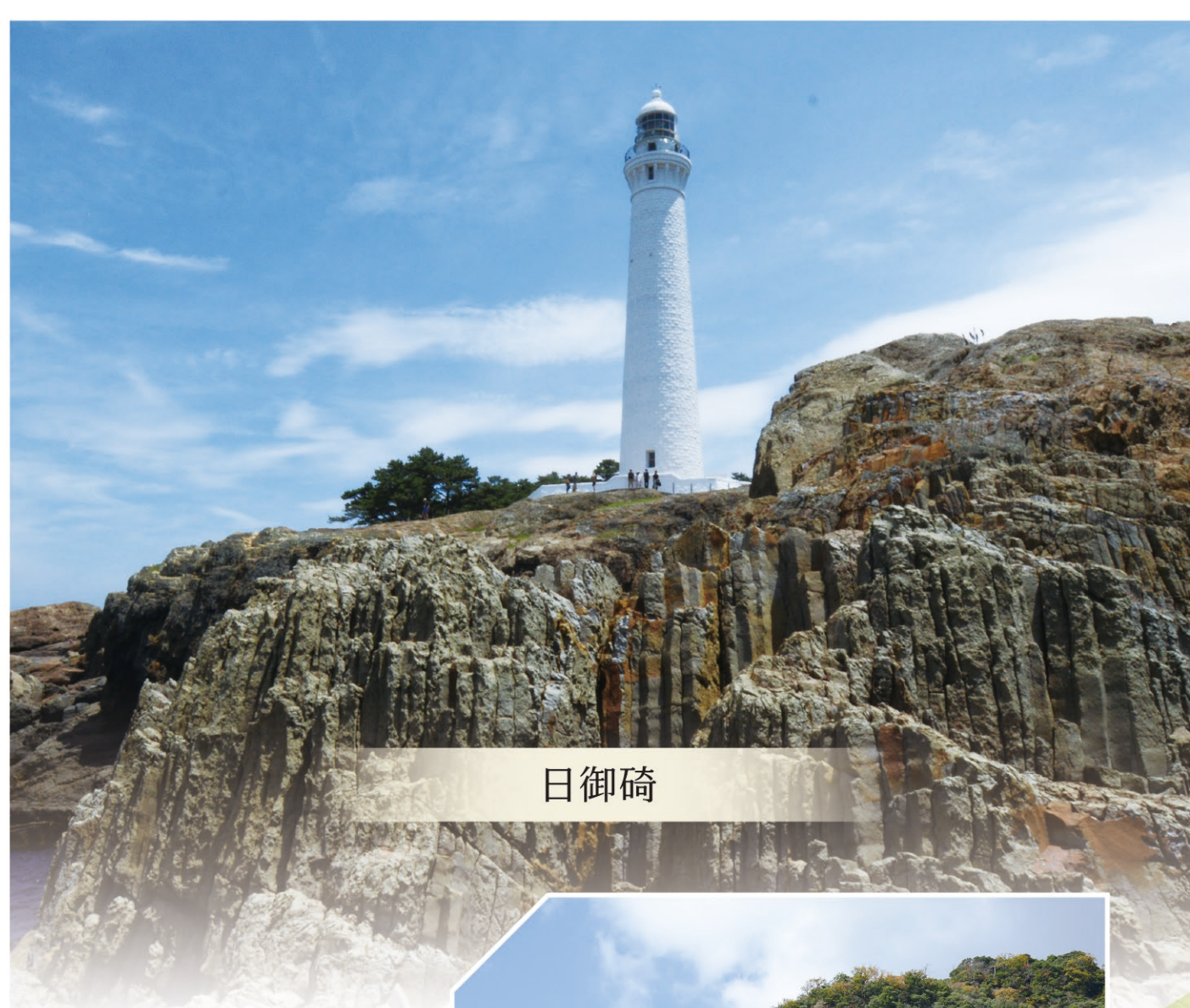
島根半島・宍道湖中海ジオパーク

出雲風土記の自然と歴史に出会う大地

認定: 平成29年12月22日
構成市町村: 島根県松江市、出雲市



島根県東部に位置する松江市・出雲市の2市で構成されており、2017年に日本ジオパークに認定されました。連結潟湖として国内最大の宍道湖・中海と、それを取り囲む島根半島・出雲平野・南部丘陵山地から成っています。複雑に入り組んだリアス式海岸が特徴の島根半島が日本海の波風からの天然の防壁となり、海水と淡水の入り混じった2つの汽水湖、宍道湖と中海が生まれました。冬には多数の水鳥が飛来する両湖は塩分濃度が異なり、宍道湖にはシジミ、中海にはアサリが生息しています。その西側の出雲平野では出雲大社に代表される古代出雲文化が育まれ、また、江戸時代にはたたら製鉄に伴う大量の土砂の流入が見られました。



日御碕



立久恵峡

須々海海岸